

製品名: GAD67 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86974**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:67 kDa; Observed MW:67 kDa

抗原情報

遺伝子名	GAD67
別名	GAD; SCP; CPSQ1
遺伝子 ID	2571
SwissProt ID	Q99259
免疫原	ヒト GAD67 の組み換えタンパク質

背景

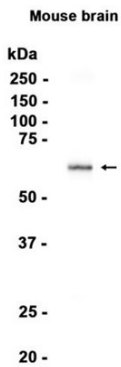
この遺伝子は、インスリン依存性糖尿病における主要な自己抗原として同定されているグルタミン酸脱炭酸酵素の複数の型のうちの 1

つをコードしています。コードされている酵素は、L-グルタミン酸から γ -アミノ酪酸を生成する触媒を担っています。この酵素は、インスリン依存性糖尿病における自己抗原および自己反応性 T 細胞標的として同定されているため、ヒト膵臓において病原性を示すことが確認されています。この遺伝子は、スティフマン症候群にも関与している可能性があります。この酵素の欠損は、発作を伴うピリドキシン依存症につながることを示されています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、主に 67kD 型と、頻度の低い 25kD 型の 2 つの産物が生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



GAD67 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。